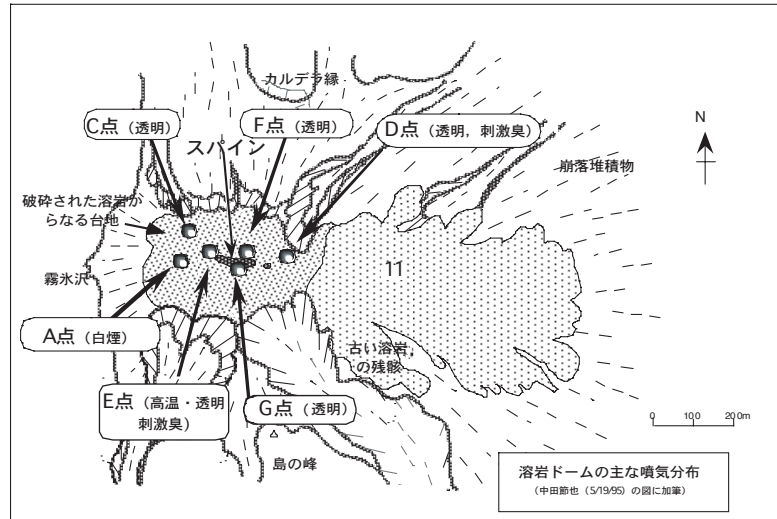
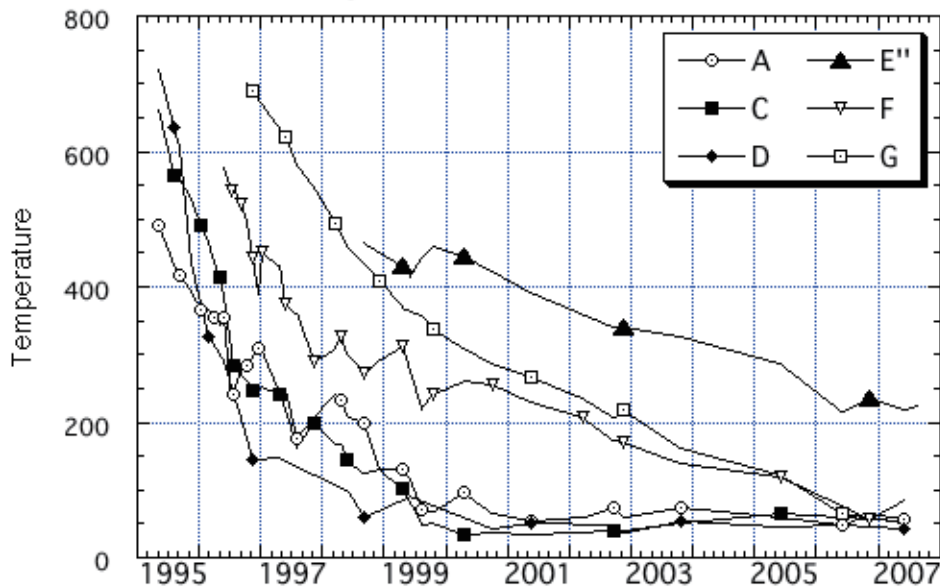


# 平成新山ドームの噴気ガスの温度変化



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 2007年8月24日測定での最高温度はE地点の摂氏224度であった。
- E点は東に傾きながら隆起した尖頂（Spine）の西側の根元にある。マグマの湧き出し口（旧地獄跡火口）の直上にあると推測される。
- 参考までにE点噴気口において北川式検知管を用いて噴気ガスを測定した結果、SO<sub>2</sub> 10~30ppm, CO<sub>2</sub> >5000ppm, HCl 50ppm, H<sub>2</sub>S 0ppmであった。前回（2007年5月30日）よりCO<sub>2</sub>・SO<sub>2</sub>が増加しているが、測定位置の差異によるものであり、活発化を示すものではないと推定される。

\*長井大輔・杉本 健・松島 健・雑賀 敦・清水 洋・渡邊篤志・松尾紉道